

※申請内容によっては異なる部門での審査となる場合があります。その際は、あらためて当該部門の申請書の提出を求める場合があります。

2023 年度 龍谷大学学生生活動支援制度
「龍谷チャレンジ」申請書

ふりがな りゅうこくちゃれんじ しゃかいれんけい ぷろじえくと

申請事業名: 龍谷チャレンジスタートアッププロジェクト (新規 ・ 継続)

※前年度からの継続、またはこれまでに本制度の採択を受けたことのある事業は、「継続」にをつけてください。

「継続」の場合

過去の採択事業名: (直近の採択年度: 年度)

申請金額: 200,000 円

※支援金は上限 20 万円です。採択となっても申請金額の満額が支払われない場合があります。

1. 申請者の概要

ふりがな 団体・グループ名	念珠 3.0			
代表者 (龍谷大学生)	所属学部・学科	学籍番号	氏名	
	●●●●●●	0999999	(ふりがな) りゅうこく たろう 龍谷 太郎	
団体・グループについて	活動開始年月	2023 年 4 月 (活動年数 1 年)		
	主な活動	ウェアラブル端末としての念珠を開発する。		
	構成員 ※代表者以外	合計 10 人		
		所属学部・学科	学籍番号	氏名
		●●●●●●	L999999	深草 一郎
		●●●●●●	E999999	深草 次郎
		●●●●●●	B999999	深草 松子
		●●●●●●	J999999	深草 梅子
		●●●●●●	T999999	瀬田 太郎
		●●●●●●	C999999	瀬田 三郎
●●●●●●		U999999	瀬田 花子	
●●●●●●	N999999	大宮 大助		
●●●●●●	S999999	大宮 華子		
※上記以外にメンバーがいる場合は別紙で添付してください。				
団体の Web サイト、SNS 等 ※ある場合	https://withdragon.rec.seta.ryukoku.ac.jp/			
連絡先	担当者名	龍谷 太郎		
	電話番号	080-0000-00XX		
	E-Mail ※審査結果の通知先	rec-k@mail.ryukoku.ac.jp		

※申請書記入例をポータルサイトに掲載していますので、参考にしてください。

2. 事業の概要

申請する事業名	念珠 3.0
事業の実施期間	2023 年 4 月～
主に事業を行う場所	龍谷大学深草町家キャンパス
SDGs の 17 の目標のうち、当てはまるものをチェック（複数回答可）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標 1 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> 目標 2 飢餓をゼロに <input type="checkbox"/> 目標 3 すべての人に健康と福祉を <input checked="" type="checkbox"/> 目標 4 質の高い教育をみんなに <input type="checkbox"/> 目標 5 ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/> 目標 6 安全な水とトイレを世界中に <input type="checkbox"/> 目標 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに <input type="checkbox"/> 目標 8 働きがいも経済成長も <input type="checkbox"/> 目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう <input type="checkbox"/> 目標 10 人や国の不平等をなくそう <input checked="" type="checkbox"/> 目標 11 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/> 目標 12 つくる責任つかう責任 <input type="checkbox"/> 目標 13 気候変動に具体的な対策を <input type="checkbox"/> 目標 14 海の豊かさを守ろう <input checked="" type="checkbox"/> 目標 15 陸の豊かさも守ろう <input type="checkbox"/> 目標 16 平和と公正をすべての人に <input checked="" type="checkbox"/> 目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう <input type="checkbox"/> 上記目標に該当しないが、社会をとりまく諸問題の解決、地域振興、社会貢献に寄与する取り組みである。
本事業の意義	宗教に関する道具であるとともに伝統産業である念珠について、新たな価値を創造することができる。
どのような目的で事業を実施するのか・事業の効果 <small>※ニーズの記載に当たっては、できる限り、地域等の関係機関から意見を聞いて記載してください。</small>	<p>《事業の目的》 念珠 3.0 事業は、伝統的な念珠とウェアラブル技術を融合し、精神的健康と利便性を向上させる製品を開発・普及させることを目指します。瞑想、ストレス管理、健康追跡機能が個々の利用者の自己改善を支援し、伝統文化の継承と現代社会への適応を通じて、日本の文化的価値を発信します。補助金を活用し、技術開発を加速し、人々の精神的安定と健康の向上に貢献します。</p> <p>《社会的ニーズ》 念珠 3.0 は、現代社会の高いストレスレベルと多忙なライフスタイルに対処するための社会的ニーズに応えます。人々の精神的健康を向上させる瞑想やストレス緩和方法の需要が高まる中、ウェアラブル念珠は効果的な自己ケア手段を提供し、生活の質を向上させます。また、伝統文化の継承と現代社会への適応を通じて、日本の文化的価値を広め、若い世代にも魅力的な形で伝えることができる重要な社会的役割を果たします。</p> <p>《達成したい具体的成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・念珠 3.0 のプロトタイプ開発 ・機能検証の完了 ・パートナー企業との協力体制の構築 ・マーケティング戦略の策定と実行による、若年層を含むターゲット市場への認知度向上 ・事業初年度での国内市場での販売目標達成

<p style="text-align: center;">事業内容</p>	<p>【事業内容】 プロトタイプ開発や市場調査を通じて、製品の機能や需要について学び、製品化に向けた準備を進めます。また、SNS を活用したマーケティングや展示会参加など、自分たちのアイデアや感性を活かした方法で、若い世代を中心に製品の魅力を発信し、販売チャネルの開拓を進めます。同時に、伝統文化を大切にしながら、現代社会に合わせた製品として、学生たちならではの創造性や柔軟性を発揮して、日本文化の魅力を広く伝えます。初年度の経験を活かし、持続可能な事業展開のための改善や海外展開の可能性についても考えながら、事業の成長を目指します。</p> <p>【事業実施に向けた連携団体や関係先との調整の状況】 <u>※必ず記載してください。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業高校の先生や卒業生 これから協力体制を構築する。 ・美術高校の教員や同級生 アイデアシェアを実施。これから検証を行い、製品のデザインの向上に努める。 ・ストレスマネジメントの専門家 これから協力体制を構築する。 ・地元の商店街 事業内容について説明済 <p>【事業の実施スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月：念珠についての調査、アイデアを出しミーティングを実施 ・6月：機能やデザインの要件をまとめ、スケッチの作成を開始 ・7月：スケッチを元に、紙製のプロトタイプの制作を開始 ・9月：プロトタイプを使って機能の検証や改善を行い、要件定義を進める ・11月：デザインの詳細設計を行い、3Dプリンターでのモデル作成を開始 ・1-2月：市場調査を実施 ・3月：製品の改善点の洗い出し
<p>これまでの活動や実績 ※ある場合は記入してください</p>	

3. 予算書

2023 事業経費			
内容	支出予定額(A)	うち本支援金額	(支出予定額(A))の内訳
交通費(〇〇～深草)	30,000 円	30,000 円	〇 〇～深草①往復 ①2,000 円×3 回×5 名
郵送費	5,000 円	5,000 円	84 円×20 通、宅配便 2 回
印刷製本費	45,000 円	45,000 円	各パッケージデザイン 500 箱×90 円
資料費	15,000 円	15,000 円	講演テーマ関連書籍の購入 (3,000 円・5～6 冊ほど)
消耗品費	50,000 円	50,000 円	ワークショップ実施時消耗品
謝礼金	30,000 円	30,000 円	講演会、ワークショップ講師 への謝礼(10,000 円×3)
その他	5,000 円	5,000 円	体験会、ワークショップ時の 参加者保険料
その他	20,000 円	20,000 円	レンタルサーバー(1 年間)
合計	200,000 円	200,000 円	

2023 収入額 ※龍谷チャレンジ支援金は含まない		
内容	収入予定額	内訳
	※初年度は無し	
合計	0 円	

○他の助成金を受給しているまたは申請している場合(予定を含む)は、助成申請事業名、申請先、収入額(申請額)決定日(予定)を下表に必ず記入してください。

助成申請事業名	申請先(制度名称)	収入額(申請額)(円)	決定日(予定)

○“3ZERO Club”への参加を希望 する・しない。(どちらかにしてください)

以上